

**PROSES PEMBENTUKAN DAN MAKNA *FUKUGOUDOOSHI*
TSUZUKERU DALAM *ASAHI SHINBUN***

REYNALDI SEPTIA PRATAMA

43131.520180.096

STBA JIA

2023

ABSTRAKSI

Fukugoudoushi adalah gabungan dari dua verba yaitu V1+V2. *Fukugoudoushi* bisa dibentuk dari unsur depan dan unsur belakang. Penelitian ini menganalisis dari unsur belakang verba *tsudzukeru*. Tujuan dari penelitian ini adalah menemukan bagaimana terbentuknya kata kerja majemuk verbal+verba *tsudzukeru*, hubungan makna yang terdapat dalam verbal+verba *tsudzukeru* dan makna yang dihasilkan dari kata kerja majemuk verbal+verba *tsudzukeru*. Penelitian ini merupakan penelitian deskriptif kualitatif dengan menggunakan metode penelitian kepustakaan. Sumber data yang digunakan adalah *asahi shinbun*. Data dikumpulkan dengan menggunakan metode observasi dan teknik pencatatan. Dari 20 data yang dianalisis dalam penelitian ini Pembentukan kata kerja gabungan dibuat dalam V1 yang ditambahkan V2 *tsudzukeru* Pembentukan kata dalam penelitian ini terdapat 2 jenis yaitu tipe umum V1+V2 dan tipe V1+V2 yang tidak dapat dipisahkan karena keseluruhannya menyatu menjadi satu kata. Sementara itu, hubungan makna yang dihasilkan dalam penelitian ini adalah *shuudan kankei*, *heretsu kankei*, *yotei kankei* dan *hobun kankei*. Terakhir, makna yang terdapat dalam penelitian ini adalah *kekka jizoku*, *kekka zanzon* dan tipe perubahan yang tidak bisa kembali ke kondisi semula.

Kata kunci: *Fukugoudoushi*, *tsudzukeru*, morfologi, semantik

朝日新聞における複合動詞続けるの形成と意味の分析

REYNALDI SEPTIA PRATAMA

43131.520180.096

STBA JIA

2023

要旨

複合動詞は前部要素と後部要素を形成されることができるからこの本研究は動詞「続ける」後部要素に含まれることである。本研究の目的はどうやって V1+続けるから複合動詞を形成されると V1+続けるに含まれる意味関係と V1+続けるの複合動詞が生み出す意味である。本研究は文献研究手法を用いた質的記述的研究である。データソースは朝日新聞を使用する。データは、観察方法とメモ作成技術を使用して収集される。データは観察方法とメモ作成技術を使用して収集される。本研究で分析した 20 データの結果から結合した複合動詞の形成は V1 連用形にして V2 「続ける」が付加される。akimono によるとこの本研究の形成することには 2 つ種類がある。一つは動詞 1+動詞 2 「複合動詞の中で最も多く」と「全体が一語化していて分解できないもの」。その間、本研究で意味の関係の結果は手段関係、並列関係、様態関係、補文関係である。最後、本研究で意味の結果は複合動詞「続ける」の意味は結果持続、結果残存と元の状態に戻れないタイプの変化である。

キーワード： 複合動詞、続ける、形態論、意味論。

概要
第一章
はじめに

A. 背景

複合語というのは、語彙的な意味を持つ二つの単語から形成され、途中で途切れることなく1つの単位となる単語のことである。(Tjandra, 2015, 76)。林の Natalia (2007, 92-93) によると複合語は四つのタイプに分けられる：「複合動詞」、「複合福祉」、「複合用紙」、「複合動詞」である。複合動詞というのは複合動詞は二つ「形態素」の単語の組み合わせから形成される動詞であり、これらの単語の合計が新しい単語になる (Tjandra, 2015, 76)

B. 問題の定式化

1. どうやって V1+続けるから複合動詞を形成される？
2. V1+続けるに含まれる意味関係は何であるか？
3. V1+続けるの複合動詞が生み出す意味とは何であるか？

第二章
理論的な基

A. 形態論

- 形態論は1つの発話行為のニーズに応じた形と意味での単語の形成である。(Chaer, 2008, 3)
- Santoso (2015, 19)の Sutedi (2019, 41)によれば、形態論は語形の分析が中心となる。

B. 意味論

かずひで (2017, 01) によると意味論とは言語学の分野の一つです。言葉や文の意味の研究を意味論と云う。

C. 動詞

- *Nihon kokugo daijiten* (1975, 1176)によると動詞は品詞の一つ。国文法では形容詞・形容動詞とともに用言に属する。
- Sudjianto (2004, 149)によると動詞は日本語の品詞であり、イ形容詞とナ形容詞が用言（独立できる単語）の1つであるのと同じである。

D. 複合動詞

1. 複合動詞の意味

- Oshima (2004,43)によると複合動詞の一つは動詞連用形であり、もう一つは動詞テ形である。
- Niimi (1987, 1)によると複合動詞はその実質的形態素二つともが動詞であるか、あるいは後部形態素が動詞であって、形成された複合自体が一つの動詞としての文法的性質をもつものを、複合動詞と呼ぶ。

2. 複合動詞の形成

Akimoto (2010, 91-92)によるとこの型が複合動詞の中で最も多く、一般にVI V2 の用語となっている。例えば、「撃ち落とす」は「撃って落とす」という意味であり、「泣き暮らす」は「泣きながら暮らす」、「みく」は「強く踏むことによって物に穴をあける」という意味である。なお、この形の複合動詞の中にはV1とV2が連用修飾の関係にない次の①~④などがある。

- 接頭辞化しているもの
前要素が後要素を強めたり、語調を整えたりするだけで、実質的な意味がなくなっている。例：取り扱う、差し引き、立ち去る
- 接尾辞化しているもの後要素の本来の意味が失われている。例：眠り込む（「込む」は本来「すっかり~する」の意味）怒鳴りつける（「つける」は本来「荒々しくする」の意味）
- 全体が一語化していて分解できないもの。例：落ち着く、張り切る
- 前要素と後要素が並列の関係にあるもの 類義成分の並列 例：嘆き悲しむ、恐れおののく、奪い取る

3. 複合動詞の意味の関係

Suprayogi の Kageyama (2015) によると、複合動詞の意味の関係には六つがある：手段関係、並列関係、様態関係、原因関係、補文関係、並列関係である。

E. 続けるの複合動詞

Elizabeth の Nitta (2017, 7-10) によると、複合動詞「続ける」の意味は三つがある：

- 結果持続
- 結果残存
- 元の状態に戻れないタイプの変化

第三章

研究方法論

本研究は、記述法による質的研究を用いる。データソースは朝日新聞である。研究の対象は、複合動詞「続ける」を含む文章である。この調査は、次の手順で行われた。

- 提出するタイトルの決定と選択
- 提案書を作る
- データを収集する。
- データを翻訳する
- データを分析する。
- 論文の顧問とともに論文を商談する
- 論文を修正する

第四章 データの分析

データ 1: 増え続ける

少子高齢化に伴って国内で増え続ける空き家。(朝日新聞, 2023/02/26)

分析

福語動詞「増え続ける」は V1 の「増える」を連用形「ます形」に変化させた後でます形を取り除き、V2 を続けて「増え続ける」としたものである。複合動詞「増え続ける」は「自動詞」+「他動詞」=「他動詞」から形成され、この分で目的語は空き家である。Akimono によるとこの分の形成することには動詞 1+動詞 2 「複合動詞の中で最も多く」だからどちらの意味も同じに見えるからである。

データ 1 には V1 「増える」インドネシア語では「meningkat」(松浦, 2005, 172)、V2 「続ける」インドネシア語では「terus menerus, melanjutkan」(松浦, 2005, 1127)。それで、二つの単語「V1+V2」を組み合わせると、「増え続ける」という意味になる。データ 1 には意味の関係は補文関係である。つまり、V1 という行為・出来ことを(が) V2 である。

最後、データ 1 の意味の結果は結果残存である。継続的行為とは、主体の意図とは無関係に結果の状態が継続することを示す(Elizabeth の Nitta, 2017, 7-10)。この場合、「増えている」状態が一定期間継続する。

データ 6: 建て続ける

そんなものを販売するな！と言いたいところだが、買いたい人がいるからゼネコンは先を競って都心部の交通至便の場所にタワマンを建て続ける。

「朝日新聞, 2020/04/18」

分析

福語動詞「建て続ける」は V1 の「建てる」を連用形「ます形」に変化させた後でます形を取り除き、V2 を続けて「建て続ける」としたものである。複合動詞「建て続ける」は「他動詞」+「他動詞」=「他動詞」から形成され、この分で目的語はタワマンである。Akimono によるとこの分の形成することには動詞 1+動詞 2 「複合動詞の中で最も多く」だからどちらの意味も同じに見えるからである。

データ 6 には V1 「建てる」インドネシア語では「membangun」（松浦, 2005, 1015）、V2 「続ける」インドネシア語では「terus menerus, melanjutkan」（松浦, 2005, 1127）。それで、二つの単語「V1+V2」を組み合わせると、「建て続ける」という意味になる。データ 6 には意味の関係は様態関係だ。つまり、V1 することによって、V2 である。

最後、データ 6 の意味は元の状態に戻れないタイプの変化である。元の状態に戻れないタイプの変化とは、変化が起きた後、元の状態に戻れない状態を表している。(Elizabeth の Nitta, 2017, 7-10)。このことは、「建てる」の建設行為が完了した後も、完成した「タワマン」の存在は継続し、元の位置には戻れないという「タワマン」という行為からも見て取れる。

データ 11: 守り続ける

携帯電話が普及し、街から消えゆく公衆電話。でも「必ず役立つときがある」と店先に置き、守り続ける喫茶店主がいる。

「朝日新聞、2022/09/03」

分析

福語動詞「守り続ける」は V1 の「守る」を連用形「ます形」に変化させた後でます形を取り除き、V2 を続けて「守り続ける」としたものである。複合

動詞「守り続ける」は「他動詞」＋「他動詞」＝「他動詞」から形成され、この分で目的語は公衆電話だ。Akimonoによるとこの分の形成することには動詞1+動詞2「複合動詞の中で最も多く」だからどちらの意味も同じに見えるからである。

データ 11 には V1「守る」インドネシア語では「mempertahankan, memelihara」（松浦, 2005, 606）、V2「続ける」インドネシア語では「terus menerus, melanjutkan」（松浦, 2005, 1127）。それで、二つの単語「V1+V2」を組み合わせると、「守り続ける」という意味になる。データ 11 には意味の関係は手段関係だ。つまり、V1 しながら V2 である。

最後、データ 6 の意味の結果は結果持続である。結果の継続性とは、主体者の意図に基づいて、活動の結果の状態が継続する状態である。（Elizabeth の Nitta, 2017, 7-10）。このことは、携帯電話が普及する中で公衆電話を守り続けようという主語の意図が例文から読み取れる。

第五章

結論

A. 結論

1. A. その形成に基づいて

- 他動詞＋他動詞＝他動詞。データは 2、4、6、7、11、12、13、14、15、16、17、18、20 の 13 個である。
- 自動詞＋他動詞＝他動詞。データは 1, 5, 9, 10 と 19 である。
- 自動詞＋他動詞＝自動詞。データは 3 と 8 である

B. Akimoto (2010, 91-92)によるその形成に基づいて

- 動詞 1+動詞 2 「複合動詞の中で最も多く」だからどちらの意味も同じに見えるからだ。データは 1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20 である。
- タイプ c の動詞 1+動詞 2 「全体が一語化していて分解できないもの」。データは 7 だけである。

2. 複合動詞の意味との関係

- 補文関係。データ 1、2、3、5、8、9、10、11、13、14、15、16、17、19、20に見られる。
- 手段関係。データ 4と7に見られる。
- 様態関係。6と12に見られる。
- 並列関係。データ 18にある。

3. 複合動詞「続ける」の意味

- 結果持続。データ 3、4、5、9、10、11、12、14、16、20に見られる。
- 結果残存。データ 1、2、5、13、15、17の6つである。
- 元の状態に戻れないタイプの変化。データは6、8、18、19である。

